

# 「熱中症の予防」と「水難事故の防止」 —未然防止の取組の徹底を！—

**県下で熱中症や  
水難事故が多発！**

具体的な対策を全職員で共有し、熱中症や水難事故等の未然防止に取り組みましょう。

## 熱中症の予防

### 熱中症が起こりやすい条件

- ・ 高温、多湿、風が弱い、輻射源（熱を発生するもの）がある環境等
- ・ 脱水状態、肥満、過度の着衣、暑さに慣れていない、体調が悪い等



### 熱中症予防のポイント

- ・ 直射日光下での長時間の運動・スポーツ・作業を避ける。
- ・ 屋外での運動・スポーツ・作業は帽子を着用し、できるだけ薄着で行う。
- ・ 屋内外にかかわらずこまめに水分を補給する。
- ・ 児童生徒の運動技能や体力の実態、疲労の状況等を常に把握する。
- ・ 児童生徒が心身に不調を感じたら申し出て休むように習慣付け、無理をさせない。

## 水難事故の防止

### 安全指導の充実

- ・ 【危険箇所の確認】学校周辺の河川等の水難事故が発生する恐れのある場所について、危険表示の掲示板や標識等を確認する。
- ・ 【児童生徒への指導】児童生徒に危険箇所を知らせ、立ち入らないように指導する。
- ・ 【学校プールの確認】プールの施設や進入防止柵等について確認し、休日等の進入防止の対策を講じる。
- ・ 【地域・家庭への周知】学校便りやPTA会議等で、学校周辺の危険箇所の周知を行う。